

美しい箱根を守ろう 第54回美化大会



照会先 環境課 ☎85-9565

8月9日、仙石原小学校屋
内運動場で、環境先進観光地
―箱根第54回美化大会を開催
しました。

大会には、地元自治会や、
小・中学生、高校生など約
300人が参加しました。

式典では、日頃観光美化や
ごみ減量に功績のあった方に
表彰状や感謝状が授与された
他、来賓の祝辞、箱根ライオ
ンズクラブから町への寄贈も
行われました。

また、今年で47回目を迎え
た観光美化・自然愛護標語、
作文、ポスターコンクールに
は、町内の小・中学校7校か
ら標語の部に45点、作文の部
に372点、ポスターの部に
439点の応募があり、各学
年の1等入賞者に賞状と記念
品が授与されました。(P10
表) その中から、標語の部の
勝俣智哉君(箱根の森小1
年)、作文の部を代表し、小
堤晃正君(恵明学園小5年)、
木村里咲さん(函嶺白百合学
園中3年)が、それぞれ作品
を発表しました。

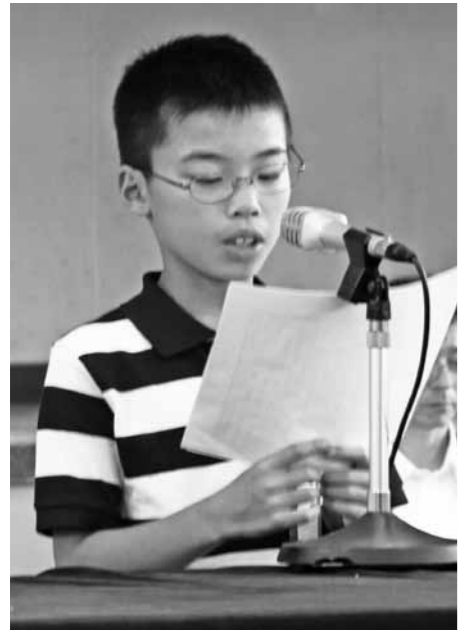
なお、この日を中心に町内
の自治会をはじめ、各種団体
の皆さんが清掃活動を行いま
した。

自然を守ろう

作文の部 恵明学園小学校 5年 小堤 晃正

(よし!ゴミをたくさん拾うぞ!)と清掃ハイキングの時に、ぼくは思いました。ぼくはこの活動は今年が初めてでした。なので、ぼくは最初は何をすればいいのかさっぱり分かりませんでした。けれどみんなのやっていることをまねするうちにどのようにやるのが、分かってきました。

歩きながら見つけた、草花や木もありました。それは『ミント』や『ヤマブキ』や『ユキヤナギ』などの、とても美しくかわいらしい草花でした。けれどそんなきれいな花たちが笑っているようにぼくには見えません。むしろ大きな声で涙を流しているように見えます。その理由がぼくたち人間が、空きかんやペットボトルなどの草や花たちに悪いえいきょうをあたえる者をたくさん捨てていくからです。ゴミなどのせいで美しい自然が台なしになってしまします。こんなに自然の美しい箱根をなぜ、だれがよごしているのでしょうか?それはぼくたち子どもが見本にならなければいけない大人たちです。なぜなら落ちて



いるゴミのほとんどが、タバコのすいがらや空っぽの酒びんや大きなぞうちんなどだったからです。しかし、そのゴミを拾うのはぼくたち子どもやきちんとした大人なのです。ぼくはごみが捨ててあると悲しいです。ぼくは箱根の四季がとても大好きです。春は桜の花のピンク色。夏は葉の緑色で秋は紅葉の赤や黄色やオレンジ色。冬は雪で真っ白な山々がとてもぼくたちを元気づけてくれているからです。そして一日一日変わっていく景色もぼくたちの好きな宝物であり、箱根の見どころでもあると思います。ぼくは世界で一番きれいでとても美しい所だと思います。

とっています。
みなさんは山や道路にペットボトルや空きカンやぞうちんを捨てたりすることはありますか?それはぜったいにやってはいけない行動です。やっていく人はもう二度とやらないください。自然も観光客もみんなが困ったり悲しんだりします。人間だけではありません。動物たちまで困ってしまいます。なぜなら住む場所だけではなく食べる物まで少なくなってしまうからです。ぼくは動物が大好きです。みなさんも動物が好きだと思います。それなのにその動物たちを殺してしまったりしていいのでしょうか?そんなことをしていいわけがありません。ぜったいにゴミを捨てないでください。動物たちがとてもかわいそうです。

ぼくはこの、自然と動物がいつしよになつてくらす山々がとてもすてきだと思っています。みなさんはどうですか?この自然が好きですか?好きならば守りましょ

「箱根を大切に美しくする」貢献者表彰
・仙石原小学校PTA
・大原自治会

「ごみ減量貢献表彰」表彰者
・仙石原幼児学園保護者会



標語の部 箱根の森小学校 1年 勝俣 智哉

いいくろき いいけしき
きれいなはごねのプレゼント

う!ぼくたちの子どもが見たがるような美しい自然を作りたいです。『世界で一番きれいな町、指しまししょう!』

身近にできる環境問題への取り組み

作文の部 函嶺白百合学園中学校 3年 木村里咲

今、世界中はオゾン層の破壊や地球温暖化などの色々な環境問題に悩まされています。それらの環境問題を解決するために私達ができることは何でしょうか。私は、ゴミ拾いや自然愛護、そして3Rなどが、私たちにできることだと考えます。そこで実際に、自分の身近な経験から解決策を考えてみたいと思います。3Rとは、「リサイクル」、「リデュース」、「リユース」のことです。これらは、資源を大切に作る循環型社会を作る観点から生まれた大切な考え方です。「リサイクル」とは再利用という意味で、資源再生をすることを指します。例として挙げられるものは、ペットボトルや牛乳パック、ビンなどのガラス、また最近はノートの紙などがあります。また、「リデュース」とは削減という意味で、廃棄物を減らすということを行い、スーパーなどでエコバックを持参してレジ袋を利用しない取り組みもその一つです。「リユース」とは再使用という意味で、そのままの形でもう一度使うことです。例えば、お菓子のかんを鉛筆立てやお道具箱にして使ったり、牛乳のビンなどを洗ってもう一度使うことなどが、それにあたります。3Rは、どんな人でも手軽に行うことができ、自分自身で率先して行うことができるので、とても良い考え方だと思います。次に、ゴミ拾いについての私の経験を少しお話ししたいと思います。

私は、昨年の夏に箱根町美化大会に参加しました。その日はとても蒸し暑く、汗を沢山かきながらゴミ拾いをしました。ゴミの中でも最も多かったのはカン類でした。また、私たちは道を歩きながら落ちていたものを拾ったり、沢山捨ててありそうな所を見つけてゴミを集めましたが、道端などの目立つ所には